

社会福祉法人 伏見福社会 広報誌



題字 高松 俊英
発行人 理事長 箕口 新一

介護老人保健施設 醍醐の里
京都市伏見区醍醐内ヶ井戸19-1
TEL (075) 571-5222
FAX (075) 573-7666
E-mail: info@daigonosato.or.jp

ごあいさつ

社会福祉法人 伏見福社会 理事長

箕口 新一

拝啓

盛夏の候、皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、当法人運営に格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年十月に、当法人の理事長に就任いたしました。はなはだ微力ではございますが、評議員・理事・監事・関係機関の皆様のお力添えのもと、より良い介護福祉サービスの提供と、地域に根ざした施設を目指し、地域貢献にも全力を尽くす所存でございます。何卒ご高承のうえ、前任者同様のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。今年、醍醐の里が開所させていただき十年の節目を迎えます。介護保険制度のはじまりと共に歩んだ十年の間に、世間の介護に対する考え方、当施設のような老人保健施設への印象もずいぶん変わってきていると感じております。そのような時代の変遷に揉まれて今日までの成長があり、今後でも利用者やご家族のニーズに応じた喜ばれるサービスを提供し続けられるように、おかげさまの心を持って、スタッフ一同邁進していく所存です。

今後とも、当法人へのなお一層のご理解とご協力をお願いいたします。

敬具



社会福祉法人 伏見福社会 運営理念・基本方針



□ 運営理念

1. 老人の人権を尊重し、生活の質の向上に努める。
2. 老人の自立を支援し、家庭復帰を目指す。
3. 老人とその家族が安心して暮らせるまちづくりに貢献する。



□ 基本方針

1. 利用者に対する看護・介護の質の確保と向上に努める。
2. 利用者の自立支援を目指した介護を構築する。
3. 利用者の快適な生活を支援する。
4. 利用者の生きがいを求める。
5. 家族・介護者の信頼関係を構築し家族の心の支えとなるよう努める。



◇ ひあひゃひ ◇

施設長

赤木 祥範

盛夏の候、ますますご健勝のこととお喜び申しあげます。

日頃より、当施設の運営にご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

ようやく暖かくなってきたかと思うと急に肌寒い日があつたりして、不安定な気候が続いておりますが、皆様におかれましては、健康には充分ご留意ください。

世間では家畜の法定伝染病である、口蹄疫（こうていえき）が宮崎県で発生し感染が広がって、畜産農家をはじめ、県や国が昼夜を問わず対応に追われている様子が盛んに騒がれています。精魂込めて育て上げた家畜を一度に失うことの無念は計り知れません。

今回の口蹄疫はヒトに感染することはありませんが、昨年は、新型インフルエンザの流行で施設においても感染予防のためのワクチン接種や外部からの感染対策に追われていました。こういった場合、感染が施設の内外で発生した時点での初動が一番重要で、常日頃より、施設の校区におけるさまざまな情報に耳を澄ませているところです。利用者やご家族、職員も含めて、安心して健やかな生活ができるように今後も努めてまいりたいと思います。

また、今年は施設が創立十周年を迎えます。おかげさまの心を持って、地域に根ざした施設となれますように精進してまいります。皆様方におかれましては、ご指導ご鞭撻をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

◇ ひとりごと ◇

事務部長

中西 雅彦

感謝・・・

縁あって介護施設に勤務し、早十年になろうとしています。

その間、本当に多くの方に出会うことができました。それは、ご利用者様ご本人であつたり、ご家族、職員、行政の方であつたり・・・多くのことを学ばせて頂いた方々に、ここから感謝するばかりです。

十人十色

一人ひとりの考え方や感じ方が、違うなんて、当たり前のように解っていたつもりでした。

介護という世界で、多くの方に接したとき、一人ひとりの人生や考え方がこれほどにも違い、何一つ絶対の答えのない介護の世界・・・それを一つの制度でくくろうともがいている人々。個別対応が、当たり前になつた今、個別を意識しすぎて制度が違う方向に向かっているとも思えることもあります。

これから

ご利用者様の人権を尊重し、生活の質

の向上に努め、自立を支援し、家庭復帰を目指し、生きがいを求め、家族・介護者の信頼関係を構築し、家族の心の支えとなるよう努める・・・私たちの理念であり、方針です。

◇ 日頃づつづがけていること ◇

看護部長

松本 よしえ

開設から十年

当所も開設から十周年を迎えることとなりました。これまで数多くの利用者様やご家族様とお会いし、お話を伺わせていただきました。それぞれ皆悩みや不安や葛藤を抱えておられます。

始まりは「こんにちは」

「こんにちは」から始まり、他愛ない日常会話の中で、相手の表情・しぐさ・声の抑揚・顔色・全身状態などの気付きを大切にしています。それにより、利用者様のことだけでなく、取り巻く背景の状況や心情をとらえ、相談者の思いや意向が吐露しやすいよう心がけております。

少しでも軽く・・・

心に持った重い荷物を少しでも軽くして帰り際の「ありがとうございます」の言葉に笑顔がのぞくように・・・



皆様、初めまして。
新しく「醍醐の里」に
来ました、理学療法士の坂井
です。今まではずっと病院
に勤めていて、今回初めて
介護老人保健施設で働くこ

とになりました。まだ
働き始めて日は浅いで
すが、思っていたより
も明るく元気な利用者
さんが多いことにビッ
クリしています。年齢
を聞いて、驚かされる
こともしばしばで、こ
ちらが逆に元気をもら
っているぐらいです。



「理学療法」というのは、リハビリテー
ションの一つで、主に体の機能や動作など
にアプローチする職種です。といっても、
機能訓練だけがリハビリではなく、その方
の生活に何が必要か？その人らしい生き方
を続けていくためにはどうしたら良いか？
などを一緒に考えながら、お手伝いをさせ
てもらおう仕事です。施設と病院とは、仕
事の内容は変わりますが、やっぱりご本人



これからどうぞよろしくお願
いします。



●「ケアプランとその流れ」

施設ケアプランは施設生活の中で社会資
源を活用しながらご利用者一人一人がその
人らしく生活が送れるよう支援していく為
の「生活支援計画」です。

ケアプランは入所前の事前情報を元に入
所時の初期プランとして作成され、入所後
プランに沿って各専門スタッ
フがサービスを提供します。
ケアマネージャーは、入所
後二〜三週間を目安にサービ
ス担当者会議を開催し、プラ
ンを実践した結果や評価を各

専門スタッフと話し合い、初期プランを見直
し、新たに作成します。そして、定期的に話
し合いの機会を持つことで常に状態に合った
プランが作成でき、よりタイムリーなサービ
スが提供できるよう努めています。

●架け橋としてのケアプラン

ケアプランにはご利用者やご家族の要望も
組み入れ、サービスを提供する側との架け橋
となる役割を担っています。サービスを提供
する側、される側の中立に立ちサービス調整
を行う事の大切さを日々感じながら仕事に励
んでいます。

▼食事への取り組み

「食は生命なり」という言葉の
通り、心身ともに健康で過ごす
て頂きたいためにも、食事は大変重
要であります。ただ栄養摂取して
頂くだけでなく、目で見て「美味
しそう」「食べてみたい」という
食欲。そして、食べて頂いたこと
で「懐かしい味」「口当たりが
いい」など、心が動けば体の機能も動きだします。

▼胃袋だけで食べていない・・・

食事は胃袋だけでなく脳でも食べて脳の活性化につな
がります。しかし、入所者様やデイケアご利用者それぞれに同
じお食事を提供することはできません。そしゃくや嚥下機
能、疾病管理、栄養強化（鉄分強化、たんぱく質強化な
ど）、また嗜好による好き嫌いなど、理由は多種多様です。

食事内容や栄養量等も個別栄養
管理で施設長はじめ看護部長・
看護師・介護士・ケアマネ・作
業療法士・管理栄養士・調理師
など各部署が関わっています。

▼それぞれの思い

各部署それぞれの思いで個人
対応することでひとりひとり美
味しく楽しくお食事を摂って
いただき、これからも「生きる喜
び」につながるよう取り組ん
でいきたいと思ひます。

ご意見・ご要望がございましたら
ご遠慮なくお申し付け下さい。



(上下写真はイメージ写真です。)



平成21年度行事・レクリエーション



ボランティア行事 (H21.7)

ミュージックアンサンブル VIVO

素敵な声のハーモニーを披露していただきました。



醍醐の里 夏祭り (H21.8)

和太鼓サークル 響太子の子供たちに太鼓の演奏や踊りを披露していただきました。ヨーヨー釣りも好評でした。



ボランティア行事 (H21.9)

北醍醐卓球クラブ パセオ会

紙芝居や演劇を披露していただきました。



ボランティア行事 (H21.11)

民謡舞踊 万里の会

子供たちの踊りに皆さん、拍手喝采でした。



クリスマス会 (H21.12)

2F・3F・4F・デイの利用者様にわかれて歌や演奏などを披露していただきました。

サンタクロースの帽子をかぶった階もありとても楽しいクリスマス会になりました。



家族介護教室

2010年3月26日 開催



はじめに、施設長による「変形性膝関節症」の講義を受けていただきました。

その症状と原因・病態、診断方法の説明から、具体例の図解、予防と治療及び注意点についてなど、参加者の方も真剣に聞いておられて、質問もたくさん頂戴することができました。普段聞けないようなことを聞いていただけたのではないかと思います。



続いて、作業療法士の宇野から、はじめの講義を踏まえての膝痛予防体操と一緒に実践していただきました。座ったままでもできる関節の動かし方・伸ばし方、タオルを利用した関節の手軽な鍛え方などを体験していただき、これなら家でもできるといった意見も聞かれ好評でした。

今回は、教室開催のご案内が遅くなったにも関わらず、多くの参加をいただきましてありがとうございました。

今後も利用者とそのご家族の健康とより良い生活のために役立つ家族介護教室を開催できるように企画してまいりたいと思います。また是非ご参加ください。

平成21年度 アンケート 報告

平成21年度 利用者満足度評価 集計結果 (平成21年12月～平成22年1月 実施)

評価について

- ◎ 大変満足している (よくできている) ○ 満足している (まあまあ、普通)
 △ やや不満 (あまりできていない) × 不満 (全くできていない)

生活全般 について	人数	◎	○	△	×
	4F 39	24	15	0	0
	3F 36	23	10	3	0
	2F 23	17	5	1	0
	小計 98	64 65%	30 31%	4 4%	0 0%
食堂環境 について	人数	◎	○	△	×
	4F 39	25	14	0	0
	3F 36	24	11	1	0
	2F 23	17	6	0	0
	小計 98	66 67%	31 32%	1 1%	0 0%
居室環境 について	人数	◎	○	△	×
	4F 39	25	12	2	0
	3F 36	29	6	1	0
	2F 23	15	8	0	0
	小計 98	69 70%	26 27%	3 3%	0 0%
食事 について	人数	◎	○	△	×
	4F 39	23	12	3	1
	3F 36	23	10	1	2
	2F 23	14	8	1	0
	小計 98	60 61%	30 31%	5 5%	3 3%
入浴 について	人数	◎	○	△	×
	4F 39	25	13	1	0
	3F 36	29	5	2	0
	2F 23	19	4	0	0
	小計 98	73 74%	22 22%	3 3%	0 0%
排泄 について	人数	◎	○	△	×
	4F 39	24	15	0	0
	3F 36	24	12	0	0
	2F 23	16	7	0	0
	小計 98	64 65%	34 35%	0 0%	0 0%
整容 について	人数	◎	○	△	×
	4F 39	24	15	0	0
	3F 36	22	13	1	0
	2F 23	10	13	0	0
	小計 98	56 57%	41 42%	1 1%	0 0%
健康管理 について	人数	◎	○	△	×
	4F 39	24	15	0	0
	3F 36	25	10	1	0
	2F 23	13	9	1	0
	小計 98	62 63%	34 35%	2 2%	0 0%
リハビリ について	人数	◎	○	△	×
	4F 39	23	16	0	0
	3F 36	22	13	1	0
	2F 23	14	8	1	0
	小計 98	59 60%	37 38%	2 2%	0 0%
レクリエーション 地域交流について	人数	◎	○	△	×
	4F 39	23	15	1	0
	3F 36	18	15	3	0
	2F 23	14	7	1	1
	小計 98	55 56%	37 38%	5 5%	1 1%
職員の対応 について	人数	◎	○	△	×
	4F 39	24	14	1	0
	3F 36	20	15	1	0
	2F 23	16	6	1	0
	小計 98	60 61%	35 36%	3 3%	0 0%

アンケートご協力、有難う御座いました。



利用者満足度評価の集計結果の評価・考察



今回の評価では、施設設備や居室環境などの生活全般に関する住環境については、おおむね満足いただいております。リハビリに主眼を置いた生活の中で、ご利用者に心休まる場を提供できているようで、ほんと胸をなでおろしています。

しかしながら、例年の満足度評価にも上がっておりますが、ご利用者の楽しみの一つである食事について、温かいものは温かく、冷たいものは冷たくといったご要望が根強くあり、施設としてもそういった設備や配膳時間の工夫といった対策を現在検討しているところです。

今後もしもご利用者が何を望まれているのかを、このような形でご意見を伺い、より良い施設サービスの提供ができるように努めてまいりたいと考えております。アンケートへのご協力ありがとうございました。

平成22年度年間行事

8月 夏祭り



みんなで
いろんな事を
楽しみまあ。

9月 敬老会

確し物があいまあ。
もちろん
おいしいお食事も・・



10月 秋の郊外

レクリエーション



お待ちかねの
郊外レクリエーション！

12月 クリスマス会



プレゼントや
毎年恒例の
煌くライトが
素晴らしいのであ。

上記以外の月はボランティア
行事など、楽しい企画を考えて
おります。お楽しみに！！

貸借対照表の要旨 (平成22年 3月31日 現在)

単位：千円

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	116,929	流動負債	64,405
現金及び預金	27,088	その他流動負債(要約)	64,405
事業未収金	87,599	固定負債	861,358
その他流動資産(要約)	2,242	長期借入金	861,358
固定資産	1,220,150	引当金	21,078
基本財産	1,212,739	負債合計	946,841
建物	1,162,204	純資産の部	
建物付属設備	7,915	基本金	78,790
構築物	5,250	次期繰越活動収支差額	311,448
土地	282,402		
その他有形固定資産	△245,030		
その他の固定資産	7,411	純資産合計	390,238
資産合計	1,337,079	負債・純資産合計	1,337,079

事業活動収支計算書の要旨

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

単位：千円

科目	金額	科目	金額
事業活動収入計	571,684	特別収入計	4,229
事業活動支出計	63,479	税引前活動収支差額	33,544
事業活動収支差額	508,205	当期活動収支差額	33,544
人件費及び事務費支出	467,372		
事業活動収支差額	40,833		
事業活動外収入計	9,017		
事業活動外支出計	20,534		
経常収支差額	29,316		



醍醐の里ではボランティアを募集しています。

ボランティア団体の行事(発表会など)や、ご入所されている方のお世話をさせていただける方をお待ちしています。(話相手・身の回り)
詳細につきましては、醍醐の里 事務部までお問い合わせ下さい。

社会福祉法人 伏見福祉会 介護老人保健施設 醍醐の里 苦情相談窓口

「介護老人保健施設 醍醐の里」にご不明の点や疑問、苦情がございましたら、当施設までお気軽にご相談ください。責任を持って調査、改善をさせていただきます。

■社会福祉法人 伏見福祉会

窓口担当者 事務部長 中西雅彦

電話番号 075-571-5222 ファックス 075-573-7666

メールアドレス info@daigonosato.or.jp

※ご意見箱(事務所受付前に設置)での受付もいたしております。

■相談(苦情)窓口一覧〔役所・支所など〕

京都府国民健康保険団体連合会 075-326-1050(代) 伏見区役所福祉介護課介護保険担当 075-611-2279(代)

醍醐支所福祉介護課介護保険担当 075-571-0009(代) 深草支所福祉介護課介護保険担当 075-642-3101(代)

山科区役所福祉介護課介護保険担当 075-592-3050(代)

編集後記

事務部 牧野恒幸

木々の緑も輝き気持ちのいい季節、皆様はいかがお過ごしでしょうか？
今回の第12号広報誌は、「利用者様の満足度評価」などの取り組みについての報告や、各職員がどのような事を考えて仕事をしているかを知っていただけたらと思います。
ご質問・ご希望などございましたら、お気軽にお問い合わせください。